

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

14090

体育館管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ施設費		
	大事業	スポーツ施設事業		
	中事業	体育館管理運営事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市スポーツ振興計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	細尾 佳広 435-1364
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	利用者サービスの向上、スポーツの振興、地域福祉の増進を図ることを目的とする。		市立体育館（市民体育館・松下体育館・河南総合体育館）の管理運営業務を、指定管理者が自らの創意工夫を活かし、利用者サービスの向上や、スポーツの振興、地域福祉の増進を図る。			
事業内容		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
		松下・市民・河南総合体育館の整備及び管理運営	市立体育館の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、体育館に必要な消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。市民体育館に障害者用駐車場にカーポート及び空調を整備する。	市立体育館の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、体育館に必要な消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市立体育館の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、体育館に必要な消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。	市立体育館の指定管理者に対し、管理運営に係る経費を支出する。また、体育館に必要な消耗品費や庁用器具及び維持修繕に要する費用を支出する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	98,170	99,038	229,277	105,603	193,136	184,064	88,385	0	88,385	0
伸び率(%)	0%	0%	133.6%	6.6%	△15.8%	74.3%	△54.2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	4,269	4,269	3,743	3,743	5,120	2,871	0	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	4,269	4,269	3,743	3,743	5,120	2,871	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	703	0	203	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	132,700	7,700	99,000	89,800	0	0	0	0
その他	22,631	21,504	23,806	17,202	22,236	17,455	24,298	0	24,298	0
一般財源(税等)	75,539	77,534	72,771	79,998	71,900	76,606	64,087	0	64,087	0
所要人数(人)	正規職員	0.53	0.53	0.47	0.47	0.66	0.37	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	体育館管理運営委託料 92,855千円 所々修繕料 1,126千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	体育館数	館	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成果指標	利用件数(アリーナ)	件	目標値	2400	2400	2400	2400	2400
			実績値	3755	3032	3221		
			達成度(%)	156.46%	126.33%	134.21%	%	%
	利用人数(アリーナ)	人	目標値	193042	193042	193042	193042	193042
			実績値	101560	67779	70970		
			達成度(%)	52.61%	35.11%	36.76%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>体育館（松下体育館・市民体育館・河南総合体育館）は、（公財）和歌山市文化スポーツ振興財団が、指定管理者として管理運営を行っている。当財団は、平成18年度から市立体育館の指定管理を行っており、使用者が安全・安心に施設を使用できることを第一に考え、市民スポーツの振興、スポーツの余暇活動の場として最良の状態を提供できるように努めている。</p>
見直し・改善内容	<p>体育館（松下体育館・市民体育館・河南総合体育館）は、建設から30年以上経過しており、老朽化が進んでいることから、大規模修繕に係る費用が増加すると見込まれるため、設備機器の保守やメンテナンスを実施するなど、適正な維持管理を行うための施策が必要である。</p>